

会議録

会議の名称	第1回加東市地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成27年3月30日（月）午後2時～午後4時10分
開催場所	加東市役所 3階 301・302会議室
<p>議長の氏名（会長 土井 勉）</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹内 宏（代理） ・齋藤 慎一郎 ・為広 誠（代理） ・中澤 秀明 ・清水 俊博 ・太田 吉哉 ・宇仁菅 悟 ・安田 誠 ・丸山 良機 ・岸本 耕一 ・大西 英彦 ・友藤 富士子 ・芹生 昇 ・岸本 吉博 ・竹内 圭一 ・吉本 剛典 ・兒山 真也 ・芹生 修一 ・利山 尚由 ・吉村 進吾 ・小林 吉人 ・田中 和美 <p><欠席委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・細見 浩司 ・高瀬 菜美 ・橋本 匡史 	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技監 一宮 大祐 ・企画部企画政策課長 陰山 昌平 ・企画部企画政策課副課長 三木 秀仁 ・企画部企画政策課主幹 前中 公和 	
<p>1 議 題</p> <p>(1) 加東市地域公共交通活性化協議会諸規程について</p> <p>(2) 平成26年度、27年度事業計画（案）について</p> <p>(3) 平成26年度、27年度予算（案）について</p> <p>加東市の交通の現状について</p> <p>2 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会諸規程について ・協議会設置趣旨説明 ・平成26、27年度協議会事業計画案 ・平成26、27年度予算案 ・加東市の交通の現状について <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第1回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過」のとおり</p>	
<p>会 長 土井 勉</p> <hr style="width: 20%; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> <p>副会長 大西 英彦</p>	

(別紙) 第1回加東市地域公共交通活性化協議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>1 開会 事務局 2 委員紹介 3 加東市地域公共交通活性化協議会設置趣旨説明 4 加東市地域公共交通活性化協議会規約について 5 役員の選任について 会長に土井勉氏、副会長に大西英彦氏、監査委員に小林吉人氏を選任 6 協議 (1) 加東市地域公共交通活性化協議会諸規程について 事務局から説明 (2) 平成26年度、27年度事業計画(案)について 事務局から説明 (3) 平成26年度、27年度予算(案)について 事務局から説明</p> <p>【質疑応答等】</p> <p>会長 事業計画において、交通社会実験をするとあり、説明では夏休み期間中に行うとのことだが、社会実験については十分に検討して行わないと、思った結果が得られない。どのような内容を検討しているのか説明してほしい。 予算については、実験の内容が反映しているのか。実験の効果を検証しようと思うとかなり予算がかかるはずだが。</p> <p>事務局 加東市のBioを中心とした市街地の活性化を考えており、その中心のみではなく、加東市の既存の拠点を結ぶ区間の実証実験を行いたいと考えている。 予算については、国へ地方創生の交付金の申請を別途考えており、社会実験については別予算で対応したいと考えている。</p> <p>委員 内容はわかったが、目的と期間を十分検討し、見切り発車しないように取り組んでいただきたい。</p> <p>委員 市民交行動調査について、コンサルへの支払いが計上されているが、アンケート方法について、自治会、老人会に回覧するなどの方法を検討してはどうか。</p> <p>事務局 こちらはアンケートのみではなく、市民の方に交通について話し合っていただくワークショップを開催する予定であり、その支援が含まれている。すべてがアンケートに要する費用ではない。ただ計画の配布・回収の方法については検討していきたい。</p> <p>会長 こういった調査は、調査票を作るのが大変で、どうしても費用がかかる。また、配布・回収についても地域の方が取り組んでいただいた場合には、知っている方が配布回収されることで、かえって答えにくいということも発生するので、第三者が聞く方が良い場合もある。ただ、地域の人たちの協力は重要なので、費用の面も含めて地域の人たちとの協力体制は重要だと考える。</p> <p>委員 交通社会実験についてももう少し詳しく聞きたい。既存のバス路線を活かしたのか新たなバス路線ということなのか。</p> <p>事務局 できるだけ競合を避けて考えたいと思っているが、事業者の方と調整させていただきたいと思っている。内容はBioや商店、または市役所と病院などと滝野地域とを結ぶ路線などを考えているが、今後もう少しルートを検討して、バス事業者と調整をさせていただきたいと考えている。 この会議の目的は、従来の限られた利用者を取りあうのではなく、利用者を広げていくということを主にしており、これが活性化再生法に基づく今回の趣旨である。</p> <p>委員 イオン、マックスバリュ等、一番お客さんが来られるのが何時頃であると把握した上で、よく考えて実験しないとただバスを走らせるだけになる。この場合に地元の方の意見をよく聞いて取り組んでもらいたい。</p> <p>7 加東市の交通の現状について 事務局から説明 【質疑応答等】 路線バスの輸送人員が大きく変動しているが、説明してほしい。 年度の空白の部分は補助路線ではなかったところである。</p>
委員 事務局	

<p>会長 委員</p> <p>会長</p>	<p>(天神～電鉄小野駅線) 広域で運行している。昼間は伸び悩んでいたのが、本数を減らしてきた。一部沿線市の補助がもらえなくなり、さらに減便したことで、ご利用も減っている。</p> <p>(社町駅～天神) 朝の時間帯で社高校、兵教大付属学校利用者について、ダイヤ改正を行ったことにより接続の関係で増えた。</p> <p>(篠山～清水) 地域の高齢化により小学生の利用が減っており、自然に減っている。 もう少し詳しい部分は事務局および事業者に問い合わせしてほしい。 社会実験を予定しておられるのが、お互い連携していきたいと思っているが、情報提供をして欲しい。 また、人の採用も必要なので、期間的なものなどを考えて十分調整をしながらやっていただきたい。</p> <p>このまま何も手をうたないと、高齢化に伴って、公共交通の支出が増えていってしまう。地域の方と取り組んでいただきたい。また、利用については、既存路線についてもまだまだ利用者を増やす仕組みの可能性が残されていると感じる。</p> <p>8 閉会</p>
----------------------------	--